

(第1号様式)

『専修学校月額奨学金』、『専修学校入学一時金』貸与申込書

公益財団法人秋田県育英会 理事長 様		令和5年 月 日	
下記のとおり記載事項に相違ありません。貴会の奨学金の貸与に、関係書類を添え連帯保証人と連署をして申し込みいたします。			

フリガナ	印	※	生 年 月 日
本人氏名		男・女	平成 年 月 日

◇希望する奨学金◇ (月額奨学金は入学後の4月から、入学一時金は入学前の1月～3月に貸与)

※希望する奨学金に○ (併願可)	月額5万円	専修学校月額奨学金
	30万円	専修学校入学一時金

現住所(住民票を移していない場合も実際に住んでいる場所の住所を記入) 〒 ー	電話番号 ー ー
---	-------------

フリガナ	印	※	生 年 月 日
連帯保証人 (本人未成年者の場合 親権者・自署押印) (続柄:本人の)		男・女	昭和 年 月 日

住 所 〒 ー	電話番号 ー ー
---------	-------------

単身赴任等の場合は、書類等の送付を希望する住所をお書きください

書類等に関する日中の連絡先(必ず記入してください) ※ 携帯・職場・その他()

ー ー ※ 父・母・その他() (書類に関して分かる方)

進学予定 (志望)校	(正式名称を記入してください)
---------------	-----------------

コース等	(「〇〇科 △△コース」等、詳しく記入してください)
------	----------------------------

国立私立 の別 (いずれかに○)	※ 国公立 ・ 私立	修業年数	()年制
		在学期間	令和6年4月から令和()年3月まで 在学予定

出身校	高等学校【卒業(見込) 令和 年 月】		
	小学校卒業	中学校卒業	高卒認定の方は○をしてください 高卒認定

家 庭 状 況	【生活状況その他特別な事情等がある場合に記入してください(任意)】
------------------	-----------------------------------

※の箇所は該当するものを○で囲むこと

『専修学校月額奨学金』、『専修学校入学一時金』貸与申込書

No

家族調書

同一生計の家族	続柄	氏名	年齢	職業 (会社名及び自営の方はその旨)	収入金額 万円	所得金額 万円	
	本人						
	父						
	母						
	欄が足りない場合は、一行に2名記入する等、全員分をご記入ください。					父母の所得金額合計	
	就学者(本人除く)	続柄	氏名	※設置者	※通学別	※就学者控除	控除額 万円
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学		
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学		
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学		
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学		
所得から差し引かれる項目	障害のある人がいる世帯 ※はいの場合には障害者手帳の写しを添付					※必ずどちらかに○ ※(はい・いいえ)	
	両親のいずれかが単身赴任している世帯 ※はいの場合には家賃が分かる書類等を添付					※必ずどちらかに○ ※(はい・いいえ)	
	長期療養中で医療費控除を申告している人がいる世帯 ※はいの場合には確定申告書控え(医療費控除の明細書)の写しを添付					※必ずどちらかに○ ※(はい・いいえ)	
	火災、風水害、盗難等の被害を受けた世帯 ※はいの場合には災証明書等と令和4年中の被害額の分かる書類の写しを添付					※必ずどちらかに○ ※(はい・いいえ)	
	母子・父子世帯 → 当てはまる場合は「父」又は「母」の欄を空欄としてください						
	本人の就学者控除					147	
					控除額の合計		

太枠内のみ記入してください。

※の箇所は該当するものに○をすること。

以下の欄には記入しないでください。

所得金額	万円	就学者等 特別控除額	万円	認定所得額	万円
世帯人員		人	成績		

本人と連帯保証人は各自自署し、印鑑は別々のものを使用してください。

鉛筆、消せるペン、修正液等は使用しないでください。